

にプラスして売ることができ
るかということがある。また、
ため池を埋め造成し区画整理
事業である土地ができた。残
った1, 100坪の活用は、
マンションを建てて売っても
売れるのではという考えもあ
ったが、市長から、公共のため、特に地域の活性化のため
に、これからやるべきことは
何かをよく考えてほしいとい
うことがあって、観光の活性
化、地域の活性化のために複
合施設を建てた。この事業は
一生懸命考え議案に提案し、
説明し実施した。当時はPFI
I事業で行うのがベターであ
ったと思う。今、ワークショ
ップをし、いろんな意見が出
ている中で、反省すべき点も
多く、反省はしている。市長
としては、平成19年に市長に
就任し、平成20年秋にリーマ
ンショックが起こり、八木周
辺で激震が起こる中、八木周
辺を力強くしなくてはという
ことで案が出てきた。宿泊施
設も少ないことからゼネコン
とのプレゼンを繰り返ししたが、
10数社行ったが1社たりとも
案に賛成してくれなかった。
業界を変え、宿泊施設業界に
回ってから風向きも変わった。

問 畝傍夜間中学校の 題

官でしかできないという判断
のもとでPFIをしている。
【問】 畝傍夜間中学に関する文
教委員会録を見ると、報告に
穴があり、今のままで値打
ちがない。バス会社をB社、
元教頭をA氏と表現している
が、B社からA氏へのつなぎ
として領収書を持ってきた第
三者がいる。新聞にも書いて
あり教頭が証言しているがこ
のことに一切触れていない。
この第三者は、夜間中学で問
題をおこしただけでなく、超
小型モビリティMICHI M
Oの運行事業の補助金の契約
先である。入札なしに当該第
三者にお金が入る仕組みであ
り、特に榎原では、直営であ
ればひと月20万円で済むとこ
ろを、今まで50万円支払って
いた。また、当該第三者とあ
る政治家の後援会の大物だとい
うこともわかっている。こ
れはあっせん利得ではないの
か。市に服務倫理監がないが
らこういう不祥事が起こって
くるのは理解しがたいが。

【答】 これは中間報告である。

中間報告は、5件の不正行為
の認定内容が中心だが、今後、
調査が進む。第三者委員会に
対し、早期の最終報告ができ
るように要請を行う。市長と
しては、政治絡みとか、企て
られたことであるとか、妄想
に答える必要はないと思っ
ている。



テレワークの導入

【問】 政府は2020年東京オ
リンピック・パラリンピック
の開会式が行われる7月24日
を本年から「働く、を変える
日」テレワーク・デイと位置
づけ、普及促進している。在
宅勤務により通勤時の混雑回
避や時間削減となり、ワーク・
ライフ・バランスが充実し、
女性がより輝ける環境となる。
既に大阪府や滋賀県など16府
県で導入されており、奈良県
も試験的に導入している。天
理市は28年3月2日、テレワ
ークを推進する拠点として、

空き店舗を活用し、国の地方
創生先行型交付金を活用した
天理市産業振興館を商店街に
オープンし、市内外の方々が
利用している。昨年6月議会
で市職員への取り組みについ
て質問し、検討したいとの答
弁だったが、その後の検討の
進捗状況は。

なくても仕事ができるという
ことになる可能性があるので、
注意深く動向を観察したい。
八木駅前ナビプラザは全館で
WiFiを利用できるが、
仕事の場としての利用は想定
していなかったが、今後の検
討課題になると考える。

【答】 テレワークをサテライト
オフィスと在宅勤務に分けて
考えると、サテライトオフィ
スは、本市は面積が小さいた
めに不要と考えている。本市
役所は窓口対応や他課との協
議が多いため在宅勤務に適し
た仕事がなく、情報セキュリ
ティの問題もあるため、実情
では実施できる状態ではない。
【問】 昨年6月議会で「企業誘
致、雇用確保の観点から、国
の動向や需要を見て調査検討
したい」との答弁だったが、
ICTを活用して、観光や雇
用の促進につながる施策をど
う考えているか。

【問】 仕事と子育ての両立が求
められる中で、女性が輝く環
境の整備は重要である。葛城
市は地方創生交付金を活用し、
子どもを産み育てながらテレ
ワークで働けるオフィスを実
施している。委託事業者が市
内の空き家等を改修してキッ
ズスペース併設のワーキング
スペースを官民協働で展開し
ている。このような子育てを
しながら働く女性を応援する
企業等の支援などの行政の支
援は。

【答】 本市の売りは交通が便利
なことである。鉄道に加え道
路も発達し、幹線沿いに多く
の商業施設、事業所が進出し
ている。本市がテレワークを
推進すると、本市に住まなく
ても仕事ができる、本市に来

【答】 本市はこれまで子育てを
しながら働きたい女性の就労
支援として、「起業を目指す
セミナー」やハローワークと
共催で仕事と育児の両立に理
解がある事業所との「就職面
接会」を実施した。今後はナ
ビプラザ4階の男女共同参画
広場を拠点に、情報提供や交
流の場となる取り組みや子育
て女性の就労支援の実効性を